

# News Release

2026年3月27日

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社  
株式会社リコー  
リコージャパン株式会社

## CTC、リコー、リコージャパン、 リコー製 LLM を搭載した超小型デスクサイド AI 用サーバーの提供を開始 ～設置場所を選ばず導入が可能、業務や担当者単位での AI 活用を促進～

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:新宮 達史、以下 CTC)と、株式会社リコー(社長執行役員:大山 晃)は、お客様の業務における AI 活用の支援を目的として、小型のデスクサイド AI 用サーバーとリコー製 LLM(大規模言語モデル)を組み合わせ、オンプレミス環境でセキュアかつ手軽に生成 AI を利用できるソリューションを共同開発しました。本ソリューションは、設置場所を問わず AI 環境を構築でき、モデル検証から業務単位での活用までを支援します。本日よりリコージャパン株式会社(社長執行役員:笠井 徹)を通じて提供開始します。

近年、企業における生成 AI 活用は PoC(概念実証)段階から、業務現場での実運用へと急速に移行しています。一方で、機密データの取扱いやモデル精度の検証、環境整備に伴う負荷などが課題となり、安全性とスピードを両立した導入方法が求められています。

本ソリューションの AI 用サーバーは、オンプレミス環境において大規模パラメータの LLM を動作させるための高い機動性と計算能力を備えた、デスクサイドに設置可能な超小型筐体の特徴です。本サーバーに、LLM の中でも 270 億パラメータ(AI の性能を決める学習要素の規模)と比較的コンパクトな構成でありながら、高性能を実現したリコー製 LLM を組み合わせることで、設置場所を選ばずにセキュアな環境での AI 活用を可能にします。

CTC が、本サーバーへのリコー製 LLM および生成 AI 開発プラットフォーム Dify(ディフィ)のプリインストールを含む AI 活用環境の設定までを行い、リコージャパンがパッケージとして提供します。これにより、お客様は特別な設定を行うことなく、手軽に AI 活用を開始できます。

機密情報を扱うリスクを考慮してオンプレミス環境での AI 利用が求められるお客様に加え、AI の動作検証や全社導入に向けたテスト導入、業務単位・担当者単位での導入にも適したソリューションです。

<提供イメージ>



リコーおよびリコー・ジャパンは、お客様に寄り添いながら、業種・業務に応じた「使える・使いこなせる AI」を提供し、オフィスおよび現場のデジタルトランスフォーメーション (DX) を支援します。「RICOH オンプレ LLM スターターキット」をはじめ、オンプレミス環境でセキュアに AI を活用するために必要な環境構築から導入、運用支援までをパッケージで提供するソリューションを、お客様の利用規模や用途に合わせてラインアップしています。今回のソリューションの提供開始により、ラインアップをさらに拡充しました。

CTC は、長年の SI 実績とインフラ構築で培ったノウハウを基に、本ソリューションの導入プロセス最適化を支援します。また、ベンダーとのパートナーシップを活かし、導入までのリードタイムを最小化します。さらに、各種設定シートや手順書の整備、出荷前の動作検証、出荷・輸送管理までを一括して対応することで、現場作業の負荷を大幅に軽減します。

今後も企業が抱える AI 導入のハードルを下げ、AI 活用の高度化に向けた付加価値提供をさらに強化していきます。

#### <CTCのサービス提供イメージ>



CTC、リコー、リコー・ジャパンは、オンプレミス環境での LLM 提供において引き続き連携し、お客様の AI 活用を支援していきます。

#### ■ 関連情報

RICOH オンプレ LLM スターターキット

<https://promo.digital.ricoh.com/ai/service/ricoh-on-premises-llm-starter-kit/>

#### ■ 関連ニュース

リコー、「Gemma 3 27B」ベースにオンプレミス導入に最適な日本語 LLM を開発

[https://jp.ricoh.com/release/2025/1208\\_1](https://jp.ricoh.com/release/2025/1208_1)

※社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。